

日本原子力学会  
第8回合同日韓合同サマースクール  
(加速器・ビーム科学、核データ、放射線工学、炉物理)

## 開催のご案内

主催：東京大学、JAEA

下記のとおり、第8回日韓合同サマースクール（加速器・ビーム科学、核データ、放射線工学、炉物理）を開催いたします。詳細なプログラム等、正式な開催案内は6月を予定しておりますので、学生・若手研究者の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

1. 開催日程 平成27年8月16日（日）～21日（金）
2. 開催場所 いばらき量子ビーム研究センター（茨城県那珂郡東海村）
3. 参加予定人数 約80名（うち学生若手参加者予定人数40名）
4. 費用  
参加費：日本人学生 未定  
          韓国人学生 無料  
          学生以外 未定  
          講師 無料  
懇談会：3,000円  
宿泊費：1泊 2,000円（東大研究員宿舎）最大41名  
          1泊 1,800円（物性研宿舎）最大の空き部屋数 シングル18、ツイン2  
          1泊 2,500円（J-PARC 東海ドミトリ）ユーザー登録不要とのこと
5. 内容（案）
  - (1) 全体構成

日程	内容
8/16（日）	夕方：Welcome Reception
8/17（月）	午前：受付、開校式、特別講義 午後：講義 夕方：日韓学生によるポスターセッション
8/18（火）	午前：講義 午後：講義
8/19（水）	午前：講義 午後：講義、実験実習事前講義、施設見学
8/20（木）	午前：実験実習（ライナック、HIT、X線源、弥生シミュレータを選択で実施） 午後：実験実習（レポート作成）
8/21（金）	午前：講義 午後：Farewell Party、閉校式

(2) 講義について

特別講義（案）：ADS（核変換含む）

講義：4部会より、各部会あたり3テーマ程度をセレクトして講義を行う。内容としては、基礎～応用を幅広く含んだものとし（例えば1件はtutorial、2件はadvanced or topical）、若手学生に対する教育的効果を配慮したものとする。

講義の特徴として、日本・東海での開催を意識して、J-PARC、福島関連、核セキュリティなど挙げられる。

(3) 講師について

各部会から3名（日本から講師2名、韓国から1名）ずつ、計12名を予定。

(4) 実験実習について

東京大学東海キャンパスで保有するライナック、HIT、弥生シミュレータ、可搬型ライナックX線源を用いて、下記実験を実施する。

- ライナック：（分野：加速器・ビーム科学、放射線工学）
- HIT：（分野：加速器・ビーム科学、炉物理）
- 可搬型ライナックX線源：（分野：加速器・ビーム科学、放射線工学）
- 弥生シミュレータ：（分野：炉物理）

いずれの実験においても担当職員が行う。参加学生は管理区域一時立入り者（見学者、実験補助者）としてデータ収集、分析に携わっていただくので、放射線業務従事者への登録は不要。

これらの実験テーマについて、1テーマあたり約10名を定員として、学生には事前にテーマ選択及び実験テキストの自習（事前レポートの提出を含む）を要求する。

6. その他

- 見学の際には公的身分証明書（運転免許証、パスポート、顔写真付住基カードのいずれか、
- 学生ポスターセッションについては参加者による審査を行い、優秀ポスターセッション賞を授与する。
- 宿泊先は東大研究員宿舎、物性研宿舎、J-PARC宿舎、近隣のホテルを予定。
- 東海駅からの送迎に、東海村からバスを出す予定。

7. 今後の進め方

3月末 日本原子力学会4部会総会にて案内

4月末 東大・JAEA関係者にて打ち合わせし、プログラム・講師案、運営案を具体化する。

6月中 正式案内を学会等HP、メールにて、公開、送付する。日韓学生・若手に参加者公募開始。受付締め切りは7月半ば。講師に講演依頼を出す。講義資料提出の締め切りは7月半ば。

7月半ば 参加者決定、講師原稿提出を受けて、準備を進める。

8月16-21日 実施。

問い合わせ先

東京大学原子力専攻 神野智史 e-mail: jinno@nuclear.jp

以上